

# Joint

vol.03

## 関西学生鉄道研究会連盟機関誌



発行・関西学生鉄道研究会連盟  
発行日・2012年 月 日

## はじめに 会長挨拶

我々、関西学生鉄道研究会連盟（以下：関西学鉄連）は、2008年に『Joint vol.1』を、2011年に『Joint vol.2』を発行しました。今年も昨年引き続き Joint を発行することになりました。昨年は東日本大震災があり、日本にとっては大きな転機となりました。被災者の皆様に心からお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復旧・復興と、今年もすべての人々にとって幸福な年になりますようお祈り申し上げます。

今回 Joint は関西学鉄連の2011年の活動を中心に、新体制になって初めてのイベント、加盟している各大学の活動を掲載しました。本誌をお読みいただき、少しでも関西学鉄連の活動に興味・関心を持っていただければ幸いです。

### 〈目次〉

はじめに…1 ページ
目次…1 ページ
序章 関西学鉄連紹介…1 ページ
第一章 学鉄連活動紹介…2 ページ
第一節 学鉄連合同遠征 in 滋賀…2 ページ
第二節 学鉄連サミット…3 ページ
第三節 2011年度新入生歓迎会…5 ページ
第二章 学鉄連加盟各校紹介…7 ページ
第一節 大阪大学…7 ページ
第二節 関西大学…8 ページ
第三節 近畿大学…10 ページ
第四節 滋賀大学…11 ページ
第五節 立命館大学…13 ページ

## 序章 関西学鉄連紹介

### (1) 概要

関西学鉄連（正式名称：関西学生鉄道研究会連

盟）は、鉄道をはじめとする公共交通を研究対象とする学生団体の交流・意見交換の場として存在し、活動を通じて団体間の交流・親睦の橋渡しを行い、各団体の発展に寄与するとともに、一般社会に対して鉄道知識の普及と理解を広げることを目的とする。

### (2) 加盟校

現在の加盟校は五十音順に大阪大学・近畿大学・滋賀大学・立命館大学の4校である。また、関西大学が2011年度に準加盟し、今年度は以上の5校で活動を行っている。

### (3) 活動内容

定期的な活動として、月1回の定例会を行っており、関西学鉄連で行う各種イベントについて議論を行っている。また、12月には総会を行い、来年度加盟校の承認や各役職の任命、年間の活動内容の決定などを行っている。

ここ近年の主なイベントとしては、毎年2月20日前後に「学鉄連の日」としてスポーツ大会や合同遠征、5月下旬に新入生歓迎イベントとしてすぐろく大会や貸切列車の運行、8月には交流会(サミット)を行っている。

### (4) ホームページ・連絡先

関西学鉄連ではホームページを開設している。加盟校のイベント情報や過去に発行した Jointなどを掲載しているのでアクセスしていただきたい。  
URL : <http://haruka.saiin.net/~k-gakutetsuren/>

### (5) 2012年度構成員一覧

大学	名前	役職
大阪大学	岩瀬 真司	会長
大阪大学	今村 圭佑	
大阪大学	大住 拓也	
大阪大学	後藤 輝樹	渉外
近畿大学	福田 日太	

近畿大学	八代 祐太	
滋賀大学	松岡 拓哉	広報
滋賀大学	國弘 修宇	
立命館大学	桜井 尚貴	会計
立命館大学	栗花落 知己	
立命館大学	加藤 秀平	
立命館大学	中尾 和樹	
関西大学	角川 修治	書記
関西大学	藤原 一裕	
関西大学	小川 卓洋	

(大阪大学 岩瀬 真司)

## 第一章 活動紹介

### 第一節 学鉄連合同遠征 in 滋賀

#### (1) 遠征意義

2月20日は「学鉄連の日」とされており、2007年度から毎年2月20日前後に毎年スポーツ大会が行われていた。しかし、鉄道研究会の集まりであるにもかかわらずスポーツ大会を開催することに疑問を呈する声が多く、今年2012年は、鉄道小旅行、つまり遠征をすることとなった。



▲近江八幡駅にて全員で記念撮影

#### (2) 旅程

遠征日 2012年(平成24年)3月3日

- 10時00分 JR 草津駅 草津線ホーム集合
- 10時26分 草津駅発 草津線普通 柘植行き
- 10時50分 貴生川駅着
- 11時02分 貴生川駅発近江鉄道本線快速 米原

行き

12時06分 彦根駅着 昼食

13時15分 彦根駅集合

3班に分かれる

撮影班, 近江鉄道乗りつぶし班, 豊郷小学校班

13時26分 彦根駅発 近江鉄道本線普通 貴生川行き

豊郷小学校班

13時44分 豊郷駅着

17時04分 近江八幡駅着

17時10分 解散

撮影班

13時53分 五箇荘駅着

15時52分 五箇荘駅発 本線普通 日野行き

15時59分 八日市駅着

16時33分 新八日市駅着 徒歩

16時47分 新八日市駅発 八日市線普通 近江八幡行き

17時04分 近江八幡駅着

17時10分 解散

乗りつぶし班

13時43分 多賀大社前駅着

15時03分 多賀大社前駅発 普通 米原行き

15時08分 高宮駅着

到着後米原行と八日市行に分かれる

17時04分 近江八幡駅着

17時10分 解散

#### (3) 豊郷小学校について

参加者のうち、約6割が旧豊郷小学校へ行った。高名な建築家であるウィリアム・メレル・ヴォーリズ設計の建築物で、1937年完成。小学校とは思えない様式美で、地元の人々から愛されている。2009年4月から1クール、2010年4月から2ク



### (3) 企画立案

関西学鉄連主催の本企画は、従来のでっけんサミットに続いて各団体のメンバー間の交流を主な目的として企画立案された。

今回は基本的に 2010 年度に開催された内容を踏襲し、「参加団体紹介プレゼンテーション」「グループディスカッション」「ミュージアム」の3つを用意したが、大きな変更点として、ミュージアムにて映像作品の発表という新しい企画を導入した。

7/3	参加者集約, タイムスケジュール調整, 詳細審議	第7回定例会
(不明)	参加許可証送付	郵送
8/8	現地下見, 誘導ルート確認, 最終調整	第8回定例会
8/22	前日準備	
8/23 ~24	企画実施	
9/13	企画反省	第9回定例会

### (4) 準備・事務

2011/1/23	サミット実施および会場決定	第1回定例会
2/15	スケジュール概要およびディスカッションテーマ決定	第2回定例会
3/26	ディスカッションテーマ変更, 宿泊先決定	第3回定例会
4/9~	サミット告知	電子メール
4/24	スケジュール決定, 要項作成開始	第4回定例会
4/30	進行状況確認	第1回臨時例会
5/22	ディスカッション担当者決定, タイムスケジュール調整	第5回定例会
6/7~	会場確保に伴いサミット参加校募集開始	電子メール
6/10~	サミット申込書送付開始	郵送
6/26	スケジュール調整, ディスカッション内容変更	第6回定例会

### (5) 当日の様子

#### 5.1 参加団体紹介プレゼンテーション

##### ・概要

スライドを使って自団体の活動紹介を行い、本企画の導入とした。最初に関西学鉄連加盟・準加盟校6校, 続いて一般参加校12校がそれぞれ年間行事, メンバーや活動場所, 機関誌の紹介, 合宿の内容, 大学祭の様子などを発表した。

##### ・成果

それぞれの団体ごとに工夫を凝らしたプレゼンテーションで盛り上がった。個性的な発表が印象に残って団体間で仲良くなるきっかけとなり, スムーズに交流することができたのではないだろうか。前回と比べ, より簡潔明瞭なスライドを使う団体が増え, 限られた時間内でよりよい発表をするための各団体の努力が感じられた。

#### 5.2 ディスカッション

##### ・概要

この企画は定められたテーマについて議論することで知識理解を深めると共に参加者間の交流を促すことを目的として行った。企画を行うに当たって参加者をあらかじめ10班に分けた。この割り振りについては, 参加者間の交流を促す目的から各団体のメンバーが同じ班員にならないよう留意した。ただし高校生以下に関しては意見が出にく

いと予想されたため、班内に複数人いるようにした。また、議論を補助するために各班にスタッフを配置した。

ディスカッションのテーマは以下の2つである。

- ① 普通列車のインフラサービス
- ② 他校鉄研との交流のあり方

時間配分は1テーマ当たり40分（内訳：導入1分 議論24分 発表15分[各班3分]）とした。

・成果

多少のばらつきはあるものの、各班共に活発に意見が出ていたように見受けられた。いずれのテーマに関しても参加者の関心をひくものであったからだと思われる。またテーマ②においては今後、各鉄研の交流方法に参考になり、議論の場でありつつも参加者に楽しんで企画に参加して頂けたと思う。本企画で参加者各個人が獲得した知識等が今後活用されることを期待する。

### 5.3 ミュージアム

・概要

前年度実施した「てっけん京サミット2010」でのミュージアムを基本に、プロジェクターによる映像作品の発表、休憩所・本部の設置等、前年度の反省・提案を反映させた。今年度も二つの会場を使用し、団体ごとにブースを設け、大小様々な展示を行った。二つの会場間を参加者は自由に行き来して、各ブースや休憩所で話し合いによる交流や、自慢のグッズ、製作動画を見せ合うなど参加者同士の交流を図った。

・成果

学鉄連加盟校は企画前日に小ホールで設営、企画翌日に撤収を行えるようにしたため、規模の大きい展示を披露することができ、サミット開催中に設営撤収で慌てることがなかった。全ブースに電源を配置することにより、遠方からの団体でも小規模なレイアウトやパソコンによる展示が行えた。今年はプロジェクターによる映像放映とプレゼン発表の場を設けたことにより、各団体の研究

発表が行えたうえ、前年度のアンケートでミュージアム後半に参加者が飽きてくる、という改善要望を解決するのに一定の成果があった。今年の会場には固定椅子がないため、スクリーンの前に観客席も兼ねて休憩所を設置した。これらの展示物を話の種に、各ブースでは初対面の者同士でも交流が行われているのが見られた。

### (6) 全体統括

今回のサミットでは、昨年の企画を基本とし、さらに参加者が楽しめる内容にすることを目標として企画を進めた。

参加人数が昨年よりさらに増加し、ついに100人近くに達した。これによって個人間、団体間の密な交流を行うことができた。例年のサミットで参加者に楽しんでいただいている結果であり、今年参加してくださった方々に感謝したい。そして何より、全国の鉄道研究会を交えての交流会を今年も開催することができ、多くの人と出会えたことが、我々としても非常に嬉しいことである。

また、会場内では「関東での開催もしてほしい」という意見も出ており、そちらも視野に入れていきたいと考えている。来年度以降も、サミットをよりよい企画にしていけるよう努力していきたい。

(大阪大学 岩瀬 真司[t1])

## 第三節 2011年度新入生歓迎会

### (1) 企画概要

新年度を迎えた後、各加盟校における新歓活動もひと段落したところで、毎年開催している学鉄連主催の新歓企画を行うこととなり、今年度は京福電車で貸切電車の運行を企画することとなった。企画の実施は2011年度第3回例会において決定され、当日例会中に京福電鉄側へ電話を入れ、貸切制度や貸切可能日の確認を行った。その後正式な予約申し込みを行い、列車の運行スケジュールの確認や目的地の嵐山駅での散策時間の設定、合計運賃やその支払い方法の確認などを行った。ま

た、本企画はあくまで新歓企画ということから新入生が参加しやすい参加費設定とし（新入生 500 円、構成員・一般会員 1500 円）、企画後にはより参加者に企画を楽しんで貰えるよう参加自由のオプションツアーとして阪急電鉄の「京とれいん」乗車ツアー、およびトロッコ嵯峨駅併設の鉄道模型ジオラマ「ジオラマ京都 JAPAN」訪問ツアーなども計画した。



▲嵐山駅にて全員で記念撮影

## (2) 準備の流れ

1/23	第 1 回例会	新歓企画実施決定
3/26	第 3 回例会	スケジュール・参加費・料金等の決定
3/26		京福電鉄側への正式予約申し入れ（電話）
4/24	第 4 回例会	要項案作成・オプションツアーの確認
4/30	第 1 回臨時例会	スケジュールを最終決定
5/10		京福電鉄側への最終確認（電話）
5/28		企画実施

## (3) 当日の流れ

2011 年 5 月 28 日土曜日

時間	内容
12:30	四条大宮集合
12:50	（列車が四条大宮に到着）
13:05	四条大宮出発

13:27	嵐山着，自由行動
14:30	嵐山集合
14:40	嵐山出発
	（嵐電天神川通過後に閉会式）
15:00	西院到着，周辺散策
15:40	解散，2次会へ

## (4) 次回に向けて

今回は企画実施日が土曜日だったため、授業等で出席できない加盟校会員がいた。また、この企画の目的は新入生の歓迎とともに、学鉄連の活動を知ってもらい、構成校間の交流を深めることである。そのため、次回は各校における新入生歓迎イベントが一段落した後の 6 月上旬の日曜日の開催に決めた。また、構成員と一般会員とが協力して取り組める「すごろく」イベントを行うことにより、交流を図れるようにしている。

（近畿大学 福田 日太）

## 第二章 関西学鉄連加盟各校紹介

### 第一節 大阪大学鉄道研究会

#### (1) 大阪大学鉄道研究会紹介

大阪大学鉄道研究会（以下：当会）は、鉄道、鉄道模型、旅行が好きな人が集まる大阪大学文化会所属の大阪大学公認のサークルである。会員数は4回生2名、3回生9名、2回生6名、1回生9名（他大生1名を含む）の計26名である。部室は豊中キャンパスのサークル棟「明道館」のBOX4である。

#### (2) 活動紹介

当会では、個々人が自由に活動を行うことを重視しており、普段会員は鉄道に乗ったり、写真を撮りに行ったり、模型の作成や、研究活動など各自の好きなように活動している。

また、会員が合同で行う活動としては、主に表2-1-1のようなものがある。

(表 2-1-1) 年間活動表

4月	サークルオリエンテーション 新歓コンパ
5月	いちよう祭
6月	春合宿
8月	夏合宿
11月	まちかね祭 秋合宿
12月	忘年会
2月	追い出しコンパ

年に三回の合宿では、現地集合・現地解散が原則である。つまり、指定された宿泊場所に泊まる以外は個人が自由に行動できるので、そこまでの行路や活動は会員によって様々である。

昨年度の夏合宿の行先は北陸地方であり、その際の新潟への行路は、2012年3月に廃止が予定されている急行「きたぐに」を利用する者もいれば、長野を経由し、長野電鉄に乗ってから新潟に向かう者もいた。



▲485系「きらきらうえつ」 新潟駅にて



▲富山地鉄 16010 形 寺田駅にて

大阪大学の二つの学祭「いちよう祭」と「まちかね祭」では、会員の活動の成果を展示している。その展示内容は、部屋全体に広がる鉄道模型の大型ジオラマをはじめ、プラレールのタワーや切符のコレクション、会員が撮影した写真と多彩である。また、近年はジオラマを走る車両を詳しく紹介する鉄道模型ショーや幼児向けの駅や車内でのマナー啓発企画、Ustream を利用した学祭の様子の配信も行い、人気を博した。



▲2011年度まちかね祭展示の様子 その1





▲2011年度まちかね祭展示の様子 その2

また、上記以外の活動としては、だいたい月一回に部会を開き、合宿の行き先を決めたり学園祭での展示内容を決めたりするなど、今後の活動について話し合う。また、年に一回、機関誌『パンタグラフ』を、上回生を中心とした会員全員で執筆・発行している。機関誌『パンタグラフ』は以下の店舗で販売している。

大阪府：旭屋書店（本店・なんば CITY 店）、マッハ模型

京都府：サン書房、マツモト模型

兵庫県：ジュンク堂書店神戸三宮店

愛知県：白樺書房

東京都：書泉グランデ

また、郵便や Web での通信販売も受け付けている。詳しくは下記 URL の当会公式ホームページをご覧ください。

URL：http://ourc.saiin.net/

ホームページでは当会の具体的な活動報告をはじめ、阪大鉄研の公式ブログ「てっけんブログ」のほか、Twitter 公式アカウントも用意し、当会の最新情報を随時更新しているので、こちらもぜひご覧ください。

（大阪大学 大住 拓也）

## 第二節 関西大学鉄道研究会

### (1) 当会について

関西大学鉄道研究会（以下：当会）は、1962（昭和 37）年 10 月に設立され、昨年 2011（平成 23）年に、50 年という節目を迎えた。大学より「同好会」の承認を受け、関西大学で唯一の鉄道趣味サークルとして活動している。

略称はイニシャルを取って「KR」で、1989（平成元）年 12 月から使用している。また、2010（平成 22）年 12 月より関西学生鉄道研究会連盟（通称：関西学鉄連）の準加盟校となり、活動の場を広げている。兼部・兼サークルをすることができる。

部室（以下：BOX）は千里山キャンパス誠之館三号館別棟 2 階第 30 会議室である。基本的に関西大学に所属している学生であれば、誰でも入ることができる。このため大学院生や、千里山キャンパス以外の学生も入会可能である。2012（平成 24）年 3 月現在、学部生・院生を合わせ、約 20 名が所属している。

当会は N ゲージのレイアウトを所有しており、大型の分割式レイアウト（以下：モジュール）と小型のレイアウト（以下：ミニレイアウト）の 2 種類ある。

### (2) 活動内容について

主な年間活動を下表に記す。

12月	新体制発足
1月	後期打ち上げ
3月	春合宿・追いコン
4月	新入生勧誘オリエンテーション
7月	前期打ち上げ
8月	機関誌発行
11月	学園祭・ちんでんコンパ

当会の活動内容は、通常活動と対外活動、特別活動の 3 つに分かれる。

#### a. 通常活動

週に 1 回集まり、連絡事項などを伝える「例会」を BOX にて実施している。また例会以外の日にも、昼休みや空き時間に会員が集まり、情報交換をしたり、いろんなトークをしたりして会員同士の交流をはかっている。

## b. 対外活動

対外活動として、大学内外のさまざまな場所で展示を中心とした活動を行っている。たとえば弁天町にある交通科学博物館で行った写真展へのゲスト出展、各地でのミニレイアウトの展示・運転などである。

## c. 特別活動

特別活動は主に春と夏に行う「合宿」と、秋に行う「学園祭での展示発表」の2つがある。

### c-1. 合宿

当会では、春季と夏季の長期休暇の期間中に会員で集まって合宿を行っている。基本的に2泊3日で、現地集合・現地解散というシステムをとっている。これによって合宿前後に各会員がそれぞれ思い通りの行動がとれ、合宿中の集団行動ではできない個人的な活動ができるというメリットがある。ちなみに2011(平成23)年度の夏合宿では四国の松山と広島を訪問した。合宿の行き先については、新入生の希望を最優先に決定している。

### c-2. 学園祭

毎年秋に行われる学園祭で、模型の展示・運転や研究発表を行っている。

模型の展示・運転は、モジュールを使って行っている。モジュール上では、各会員が持ち寄ったさまざまな車両が走行している。そのため、時代・地域等関係なくいろいろな車両をいっしょに見ることができる。またモジュールと会員所有の模型車両を利用し、あるテーマに沿って車両を走らせて紹介する車両紹介運転(通称:デモ運転)を行っている。デモ運転は学園祭以外でも、モジュールを出展している会場で実施している。なお、紹介車両は年や場所で少しずつ異なっている。

2010(平成22)年からはプラレールの展示も行っている。モジュールとは異なり、自由に触れて遊べるため子供には好評である。

研究発表は合宿で訪問した地域に関することをテーマに鉄道のみならず観光分野などにおいても紹介・研究したものを発表している。

昨年度は実験的に、各会員が撮った写真を展示し、会場にお越しの方に一番気に入った写真を決めてもらう「フォトコンテスト」を行った。上位に選ばれた会員には、その後景品が贈られた。

また昨年度は東日本大震災で被災した東北の鉄道の現状を収めた写真を、被災前の写真も合わせて展示した。

このほか会員所有の鉄道部品の展示も行う。

学園祭後には阪堺電軌を貸しきった打ち上げ(ちんでんコンパ)も行われる。現役生とOBとの貴重な交流の機会としても活用されている。

## d. 発行物

発行物は機関誌『新・快速せんり』と会報『鉄』がある。

### d-1. 新・快速せんり

当会では機関誌『新・快速せんり』を年1回発行している。当会は1962(昭和37)年の創設以来1996(平成8)年まで機関誌『快速せんり』を発行してきたが、その後内向けの『会報』のみの発行となり、外向けとしては会報『鉄』を学園祭に合わせて発行する程度となっていた。

そこで、2008(平成20)年に新たに創刊したものが『新・快速せんり』である。その後は継続して年一度発刊し、今年の夏には最新号の5号が発刊予定である。

### d-2. 鉄

会報『鉄』は現在、基本的に学園祭時に外向け、冬頃に内向けをそれぞれ発行している。外向けは活動報告を中心に、内向けは会員の研究報告や合宿報告が中心の内容となっている。

(関西大学 藤原 一裕)

### 第三節 近畿大学文化会鉄道研究会

#### (1) 当会について

近畿大学文化会鉄道研究会（以下：当会）は1969（昭和44）年に創立され、2012（平成24）年度で創立43周年を迎える。

2011（平成23）年度は4回生3名、3回生5名、2回生7名、1回生5名の計20名が在籍している。東大阪キャンパスを拠点として活動している。

当会の基幹となる活動は研究活動であり、部活内で話し合いをして、6月頃に交通科学博物館での展示会と文化祭での展示会内容を決めている。そのための調査は、春休みや夏休みでの合宿にて行っている。

また鉄道の車両や技術面だけではなく、一般の人にも馴染みのある観光場所や駅弁などの調査も行っており、展示会でもより見やすさを求めている。

模型に関しては、2012（平成24）年度より国際規格モジュールに対応したNゲージのレイアウトを導入した。これにより、学外の様々な展示会への出展が可能となった。



▲Nゲージのレイアウト(リニューアル前のもの)

#### (2) 年間活動

年間活動表

12月	冬季遠足
1月	鉄道わくわくフリーマーケット
3月	春季合宿
4月	新歓活動
5月	新歓遠足・合同展示会
6月	鉄道展

8月	新入生合宿
9月	夏期合宿
11月	生駒祭

これらの活動に加え、週に3回の定例会を行っている。各種決定から展示会などのイベントに向けた話し合い、研究の内容など、当会を運営する上で重要な議論の場となっている。

#### (3) 機関誌紹介

##### a. はじめに

当会では、機関誌『DEFLECTER（デフレクター）』を年に1回のペースで発行している（ただし近年は発行休止中）。近年における『DEFLECTER（デフレクター）』では、当会での活動報告や春季、あるいは夏季合宿で調査した鉄道、個人投稿などを取り上げている。2009（平成21）年度には当会機関誌の最新刊（2012年5月現在）『DEFLECTER（デフレクター）』No.35「北陸本線特集号」を発行した。内容については『Joint vol.02』を参照されたい。

##### b. 入手方法

『DEFLECTER（デフレクター）』は基本的に当会の関係者（新入生やOBなど）や学鉄連加盟校に配布されるのみであり、一般への販売や配布は原則として行われていない。

（近畿大学 福田 日太）

### 第四節 滋賀大学鉄道研究会

#### (1) 当会について

滋賀大学鉄道研究会（以下：当会）は、滋賀大学彦根キャンパスにBOXを持つ学生鉄道研究団体である。設立は1995年で、同種の団体としては比較的歴史の浅いものである。

当会は関西学鉄連の他に、本学の文化サークル連合にも加盟しており、他団体との交流や情報共有も活発に行っている。また毎年春・秋に開催される本学学園祭には毎回出展しており、模型展示

などで人気を博している。

2012年3月現在、会員数は4回生3名、3回生1名、2回生3名、1回生6名の計13名となっている。各会員の鉄道趣味の方向性はそれぞれ多岐に渡っているが、全体的に他鉄道研究会と比して鉄道知識の少ない者が多い。会員の兼部率が高いことも特徴で、電子計算機研究会、SIFE、会計ラボなど兼部先も幅広い。また近年の文化系サークルでは特筆すべきことでもなくなったが、サブカルチャー方面の趣味を持つ者が多く、鉄道趣味のみならず、そういった交流などによって和気藹々とした良好な会員関係が保たれている。

当会の運営形態の特徴として、2010年度よりPL（プロジェクト・リーダー）制度を導入している。これは会長の業務負担を軽減し、また独断専行を防ぐために考案されたもので、例えば学祭出展、機関紙発行などのプロジェクトについてそれぞれリーダーを設定し、当該プロジェクト内において会長と同等の権限を与えることで円滑な進行を期待するものである。現在、新歓、機関紙、学祭、模型といった活動にそれぞれPLが設定されている。

活動方針として、近年は対外的なイベントへの参加に重点を置いている。2011年度では、ゆる鉄モジュール倶楽部に協賛して、第1回・第5回三陸鉄道復興応援イベントを本学近隣のアルプラザ彦根で開催した。第3回・第7回の同イベントでは模型や機関紙等の出展を行った。また、同時期の学祭出展においても同倶楽部よりパネル写真をお借りし展示、多くの来場者に好評を得た。また11年11月にはジェイ・モデリング主催の鉄道模型ジオラマフェスティバルにてペーパークラフトの工作会を出展した。

## (2) 年間行事

3月	春合宿
4月	機関紙発行 開学祭出展

5月	新歓乗車会 春の日帰り旅行
8月	夏合宿
10月	機関紙発行
11月	滋大祭出展
12月	OB会 冬の日帰り旅行

## (3) 活動紹介

### ・機関紙「いぶき」「臨時いぶき」

当会は研究誌の「いぶき」、紀行誌「臨時いぶき」を発行・無料頒布している。最新の臨時いぶき12号では、主に11年度夏合宿の記事を中心にまとめている。

### ・彦根レイアウト

琵琶湖線・湖西線を模した、10×3mの巨大なエンドレスレイアウト。主に年2回の学祭時に展示され、学内でも当会の名物となっている。



### ・佐古レイアウト

10年冬より製作中の、Bトレ・鉄コレ向け可搬型レイアウト。小規模ながらカントレール、立体交差、併用軌道など細部にこだわった作品である。



### ・ペーパークラフト「Pトレイン」

鉄道車両をBトレスケールでペーパークラフトにしたものである。組み立てて部品を組み込み、実際に走行させることができる。えちぜん鉄道、三陸鉄道など現在第5号まで発行されている。



### ・11年度夏合宿

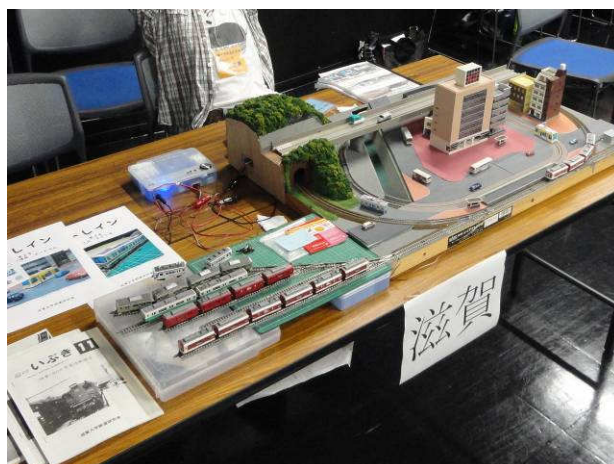
合宿先は四国。1日目は高松の高松琴平電鉄と松山の伊予鉄道を散策する班に分かれ、2日目は合流して坪尻駅、大歩危ー小歩危間の散策を行った。



### ・てっけん吹田サミット 2011

当会は佐古レイアウトの展示、機関紙とペーパー

ークラフトの頒布を行った。



### ・11年度滋大祭展示

彦根・佐古レイアウト、プラレールの展示と体験運転、機関紙とペーパークラフトの頒布を行った。また、ゆる鉄モジュール倶楽部提供の三陸鉄道復興応援イベントのパネル写真や募金箱を設置した。



### ・11年度冬の日帰り旅行

三岐鉄道北勢線の乗車と、沿線散策を行った。



(滋賀大学 松岡 拓哉)

## 第五節 立命館大学鉄道研究会

### (1) 立命館大学鉄道研究会紹介

立命館大学鉄道研究会（以下：当会）は、1961（昭和36）年11月に同好会として発足し、1983（昭和58）年に立命館大学学術部公認サークルに認定され、2011（平成23）年度には創立50周年を迎え、記念列車の運行を行った。当会は、鉄道を始めとする各公共交通機関について幅広く研究を行っており、立命館大学学術部の公認サークルでもある。現在、当会の会員数は24名で、それぞれの会員の興味・関心のある分野を中心に幅広い研究活動を続けている。

また衣笠キャンパスとびわこ・くさつキャンパス両方にサークルルーム（部室）を持ち、それらが活動の拠点になっている。



▲立命館大学衣笠キャンパス前のバス車庫

### (2) 活動紹介

主な活動として、当会は毎年機関誌「ポイント」の発行を行っている。この機関誌「ポイント」は、毎年異なった鉄道会社や路線などについて学術的に幅広い視点に立って研究・考察していくものである。また、先述のように当会は鉄道以外の交通機関であるバスや飛行機に非常に造詣が深い会員も多い。そのため、研究活動を行う際にもこれらの知識を生かし、鉄道とその競合交通機関（例、高速バスなど）との比較研究に役立てている。2011年度当会は、日本海側を縦断している特急街道である「北陸本線」にスポットライトを当てて、研究およびフィールド・ワークを行い、北陸新幹線の開業後にいかに並行在来線やロー

カル線などの既存の交通機関がどのような影響を受けるか、それらをいかに守っていくかということを中心に調査・研究を行った。また3月11日に発生した東日本大震災を踏まえ、震災時に北陸本線が果たした役割についても研究を行った。



▲681系「はくたか」

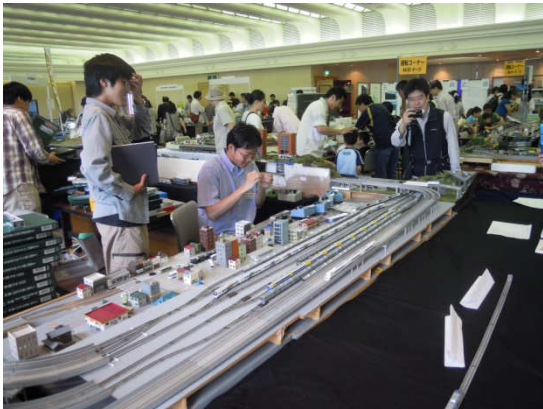
フィールド・ワークについては毎年行っているものであり、単に書籍を読むだけではなく、実際に現地に赴き、現地の実態を肌で感じることで、より深みを持った研究を行うことが可能となる。また、このフィールド・ワークに一部合宿を兼ねているという側面を持たせることで、日頃各人の活動などで忙しい会員間のコミュニケーションの向上にもつなげていくことで、会のスムーズな運営のための重要な行事の一つとなっている。今年2012年のテーマは、茨城県にある中小私鉄の「ひたちなか海浜鉄道」であり、夏に予定されているフィールド・ワークなどを通し、研究と考察を進めていく予定である。



▲2011年度フィールド・ワークにて

また、その他の活動としては、地域や自治体のイベントおよび行事への参加が挙げられる。当会は毎年、主に京都府および滋賀県で行われる地域行事への参加を行っている。具体的には、京都の左京区にある高瀬川で開催される桜祭り、夏祭りが挙げられる。

特にこれらの地域行事において、当会の展示する鉄道模型のジオラマは、小さい子から大人まで人気があり、当会の地域行事における目玉になっている。以上のように地域行事を通して、地域の住民の方などに鉄道に慣れ親しんでもらい、楽しんでもらうだけでなく、当会の活動を知ってもらうことにより、地域とのつながりを深め、地域貢献ができるサークルとして活動していくことを1つの目標としている。サークル活動を行う上で、地域との信頼関係は重要であり、そのためにも当会の活動内容を理解してもらう必要がある。その上で、地域行事への参加は不可欠なものである。



▲イベントの様子

そして当会のイベントとして最大になるのは、毎年11月上旬に衣笠キャンパスおよび、びわこ・くさつキャンパスで開かれる立命館大学学園祭である。このイベントで、当会は鉄道模型ジオラマの展示や当会会員の撮影した公共交通機関に関する写真展示、研究発表、駅弁販売などの多数の企画を行っている。特に、駅弁販売は毎年好評で連日多くの来場者の方がこの企画を目当てに訪れており、早い時には1時間で用意した駅弁全てが売れてしまうこともある。毎年、各キャンパス2日

間ずつでそれぞれ900人近い来場者の方が訪れる大変大きな行事となっており、各会員も心を合せて一丸になって学園祭に向けて取り組んでいる。



▲学園祭の様子

以上のように当会では、様々な行事を、一年間を通して行っている。上記したようなイベントについては、当会のホームページで随時配信を行っているので、ご覧いただきたい。

ちなみに当会の一年間の活動内容は以下のようである。

12月	新体制発足
1月	研究テーマ決定・研究開始
4月	新歓活動
6月	新歓遠足
	研究中間発表
8月	夏季FW
10月	研究まとめ・学園祭準備
11月	学園祭
	定例総会（年度総括）

立命館大学鉄道研究会ホームページアドレス：

<http://rurc.web.fc2.com/>

(立命館大学 栗花落 知己・桜井 尚貴)



# Joint vol.3

関西学生鉄道研究会連盟機関誌

初版発行日：2012（平成24）年4月23日

第2版発行日：2012年（平成24）年月日

事務局：大阪市東大阪市宝持11-35（近畿大学クラブセンター）

発行所： 関西学生鉄道研究会連盟

発行人：岩瀬 真司（大阪大学）

編集者：栗花落 知己（立命館大学）

桜井 尚貴（立命館大学）